

新建築

SHINKENCHIKU:2012

7

FORUM ONE

10 July 2012

Robert Baum



清水建設 新本社ビル

所在地 : 東京都中央区京橋2-16-1

設計施工 : 清水建設(株)

規模 : 敷地面積 2,728 m^2
建築面積 2,170 m^2
延床面積 51,355 m^2

階数 : 地上22階、塔屋1階、地下3階

建物高さ : 最高部 106.250M

用途 : オフィス

構造 : 免震構造、鉄筋コンクリート造
(一部鉄骨造)

工期 : 2009年4月1日～2012年5月15日

オープン : 2012年8月1日予定
新本社営業開始

清水建設本社

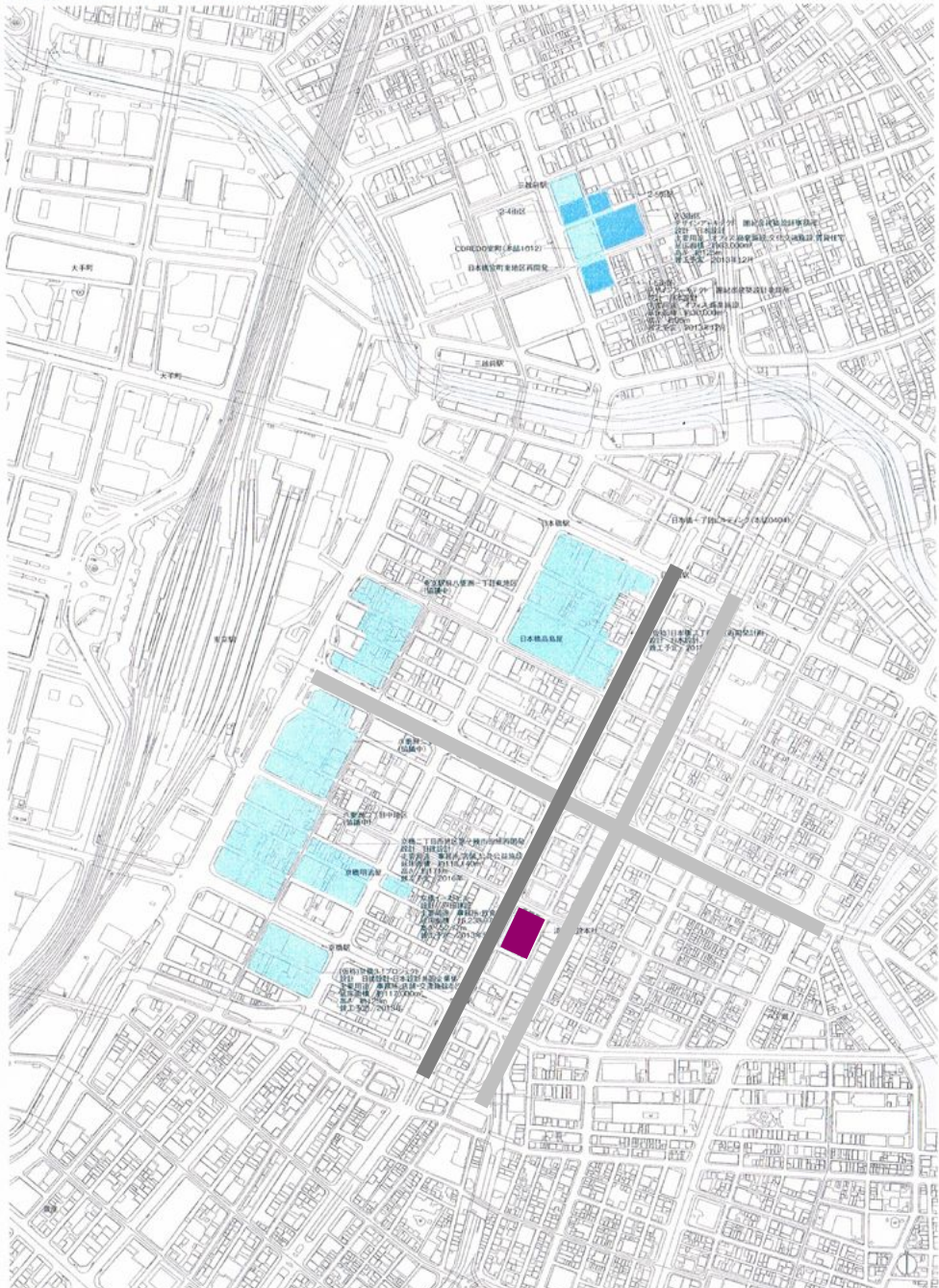
設計施工 清水建設

03-3542-1111
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 清水建設本社



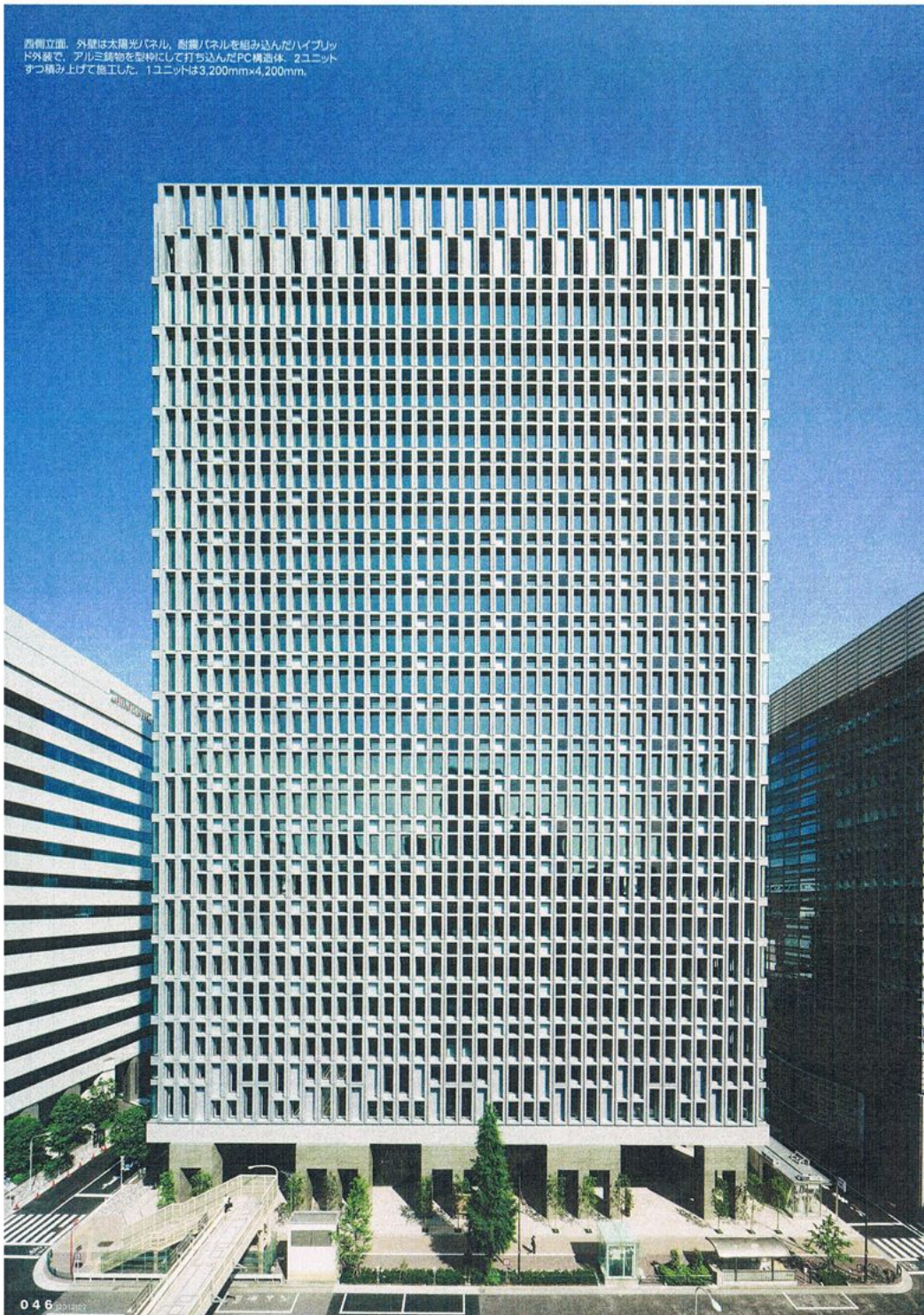
東京都中央区に建つ、清水建設の新社。約90年間本社を構えていた京橋に、再び移転した。ハイブリッド外装システムなどで、CO2-50%を実現した。南関東圏高層ビル現存一東京都で14番目の都市再生特別地区に認定され、1,230%の容積率、約50,000㎡の増築が実現した。

日本橋・京橋エリアの開発動向



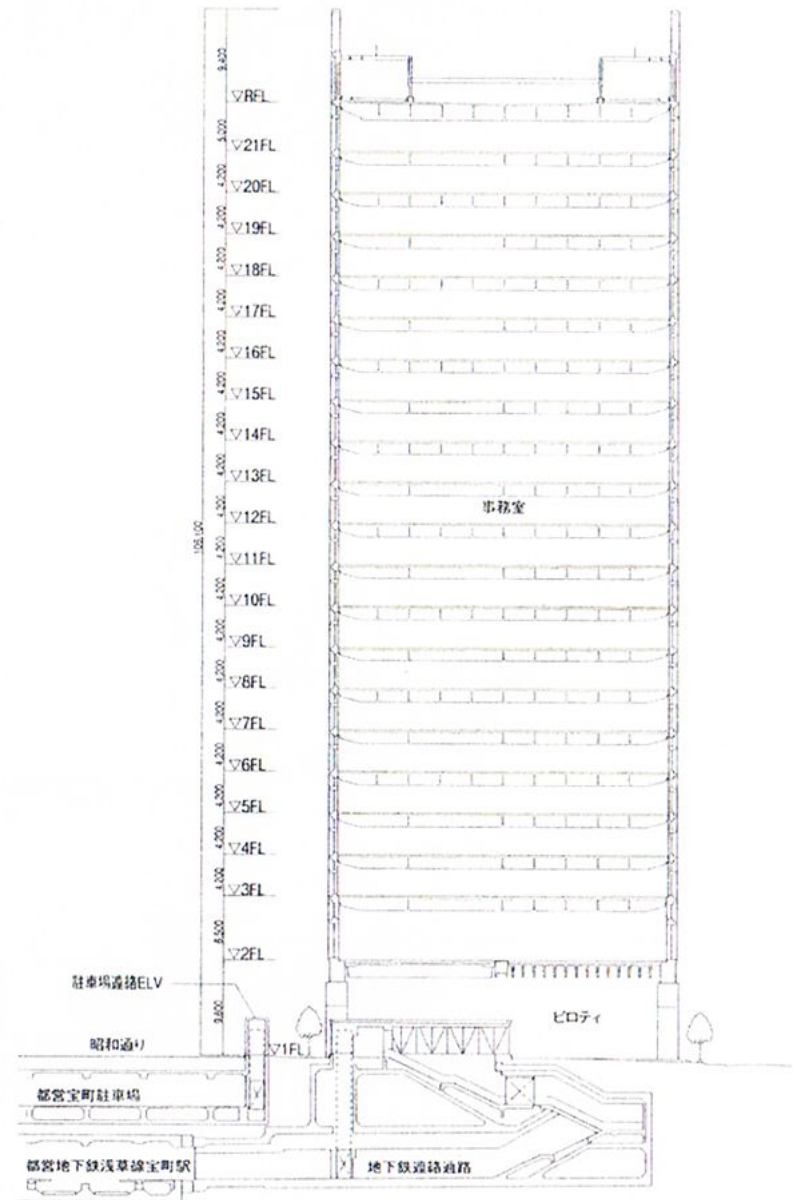
日本橋・京橋地区 縮尺1/8,000

西側立面。外壁は太陽光パネル、耐震パネルを組み込んだハイブリッド外壁で、アルミ躯体を型枠にして打ち込んだPC構造体。2ユニットずつ積み上げて施工した。1ユニットは3,200mm×4,200mm。



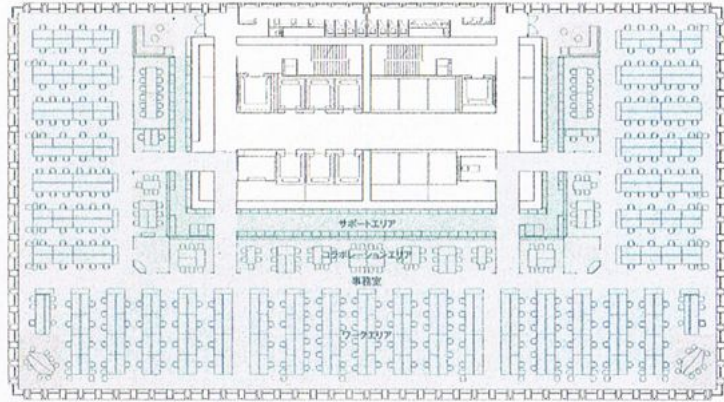
階数 : 地上22階、塔屋1階、地下3階

建物高さ : 最高部 106.250M

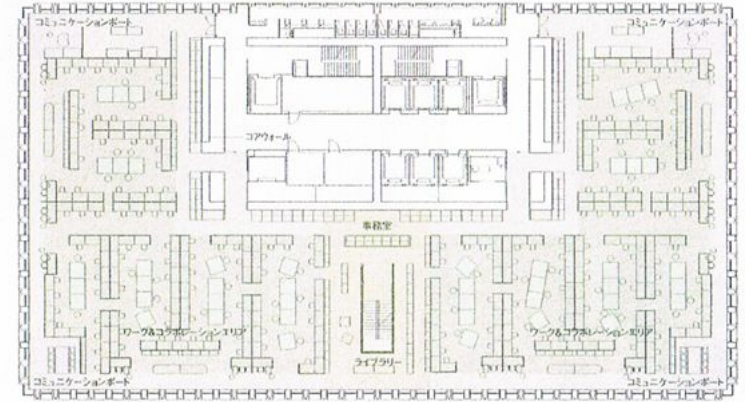


断面 縮尺 1/1,000

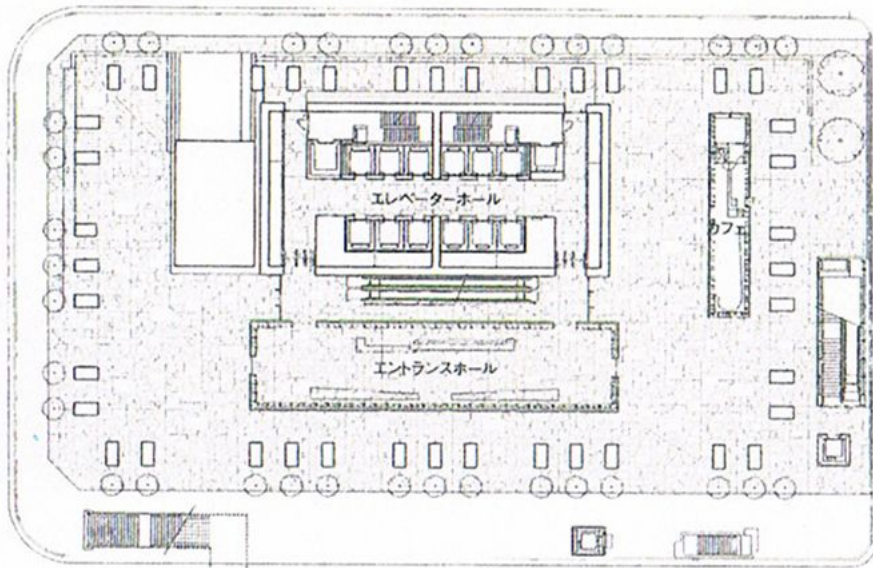
規模 : 敷地面積 2,728²
 建築面積 2,170²
 延床面積 51,355²



10階

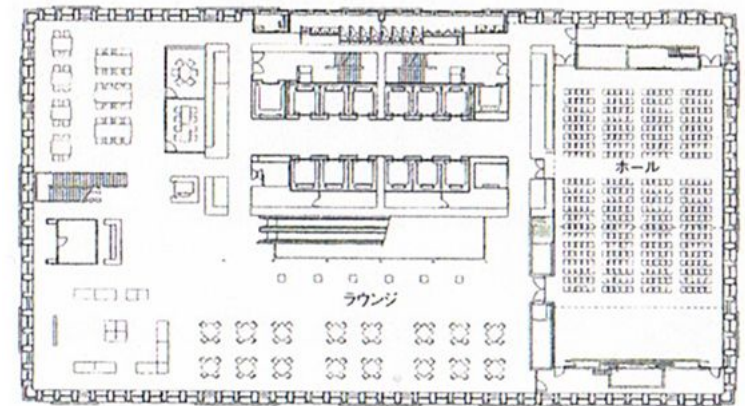


17階



1階

昭和通り



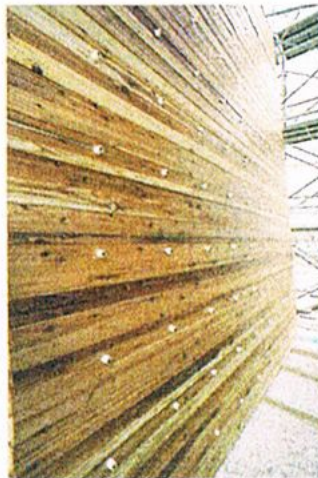
2階

匠の技をとじてめる

低層部のコアウォールの仕上は、スギ板本実型枠打ち放しとした。スギ板は職人の手仕事により表面に5mmの凹凸がつくよう実加工することで、光を受けて陰影ができるように工夫した。また木目がコンクリートにより深く写し込まれるようスギ板に一枚一枚浮造加工した。型枠は寸分たがわぬ精度で組み上げられ、打設はコールドジョイントなどがでないよう、ゆっくり時間と人手をかけて行った。素材がもつ木目や色をコンクリートにうつこむプロセス。 (宮崎浩英/清水建設)



職人の手による浮造加工。



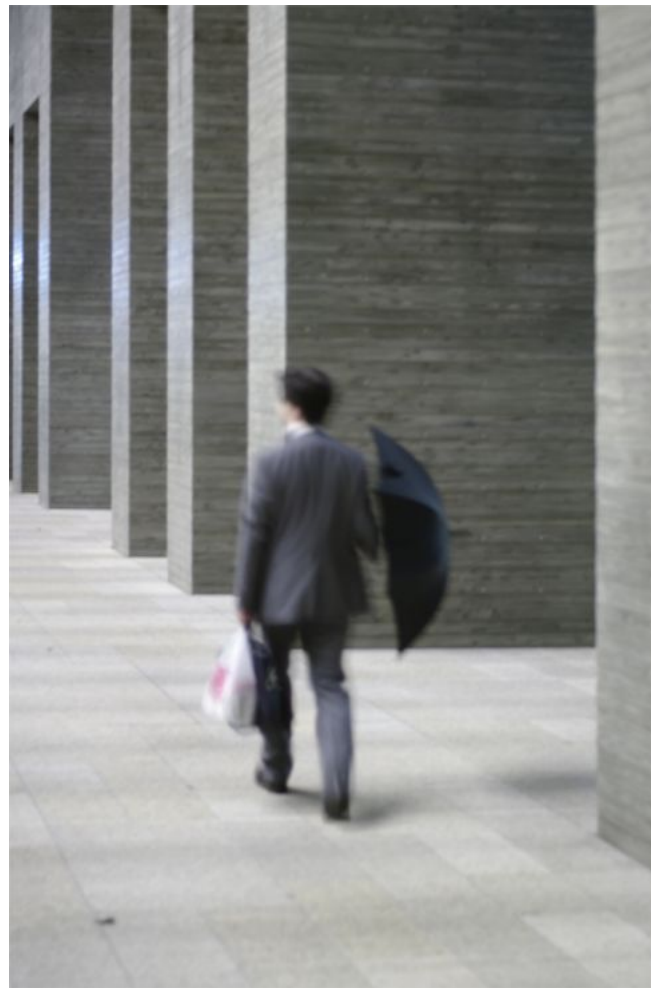
本実型枠。



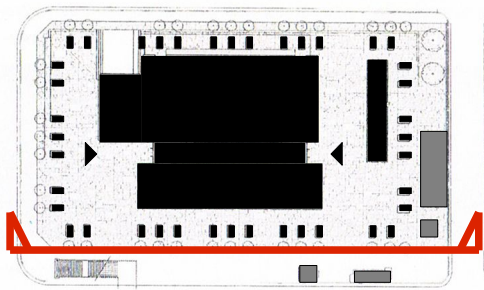
パネル化され、現場に運ばれた。



コンクリート打設前。



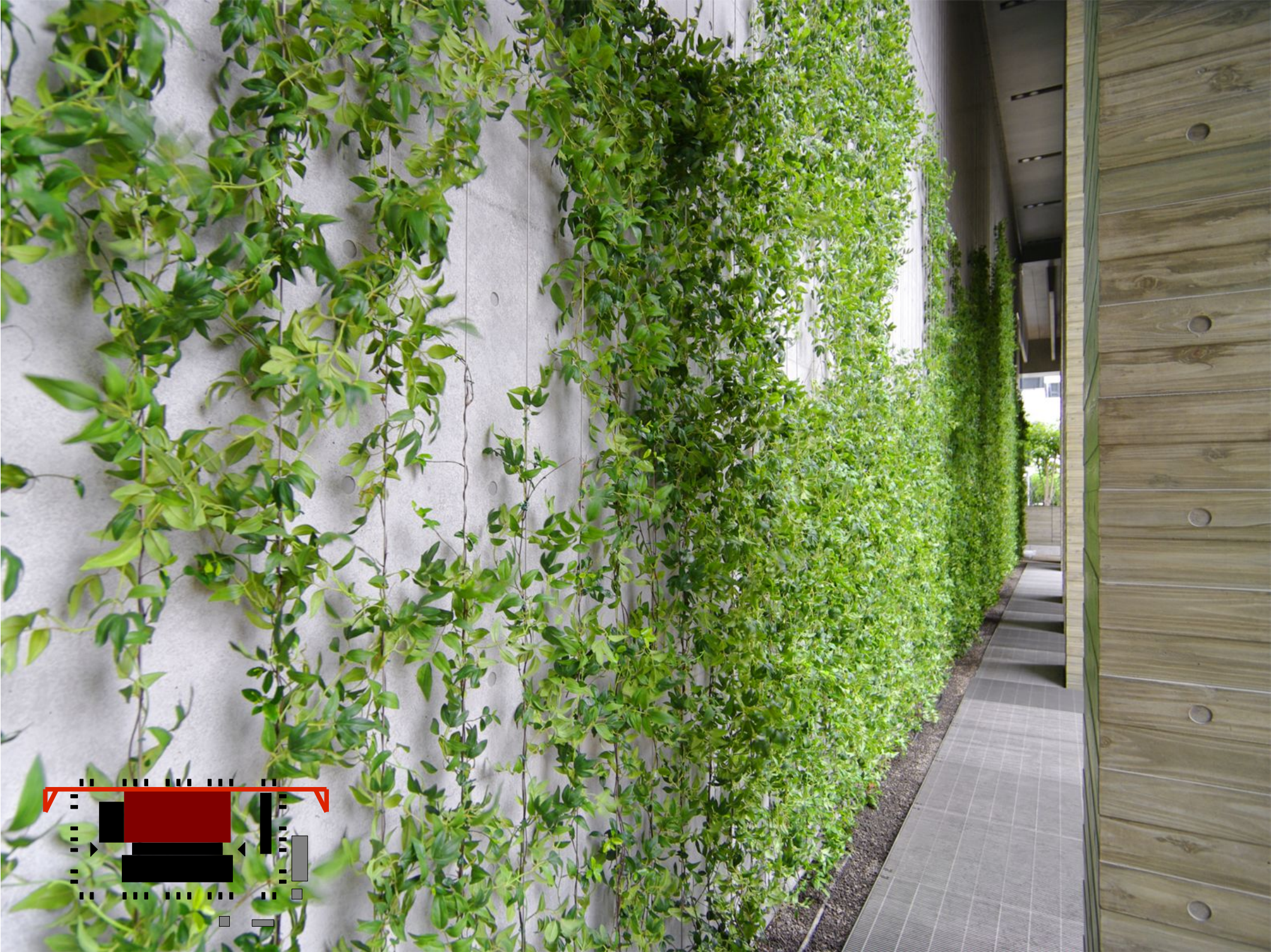




昭和通り

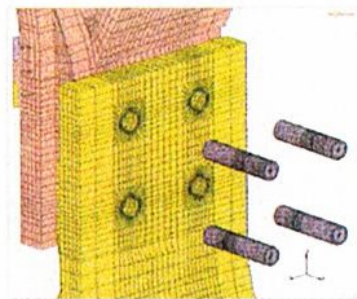
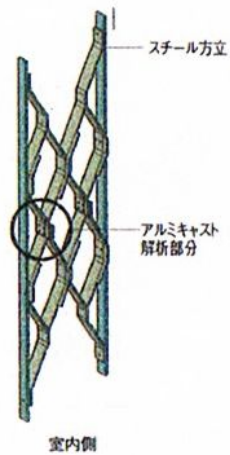




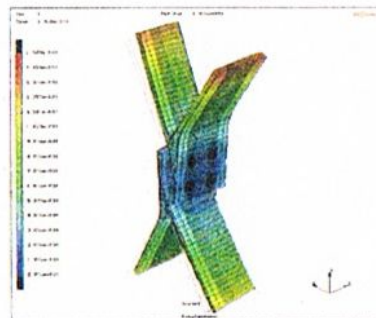




アルミキャスト.

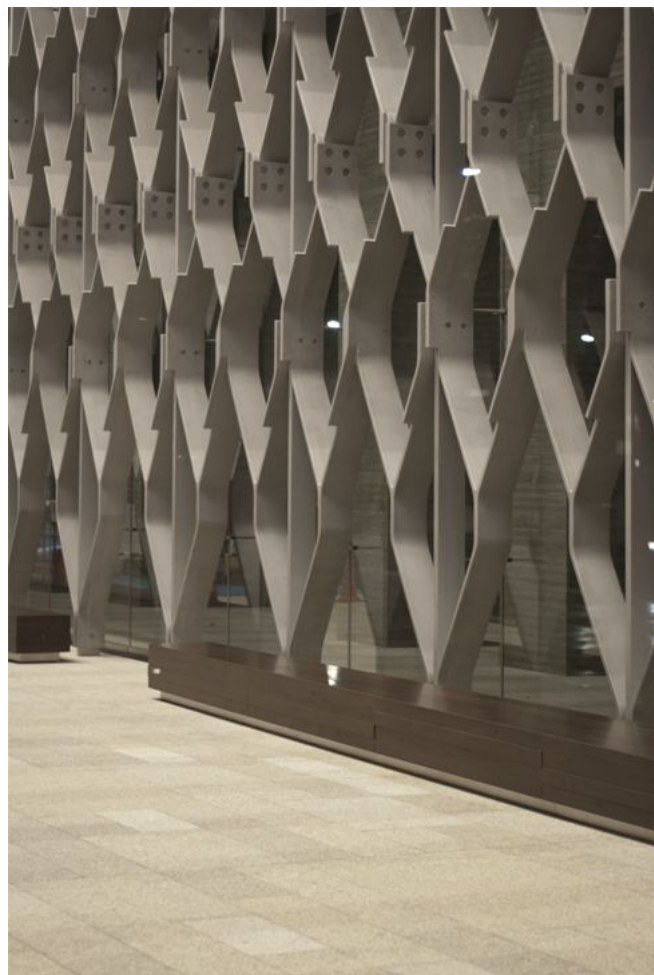


孔部

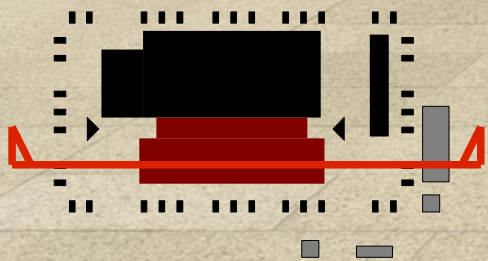
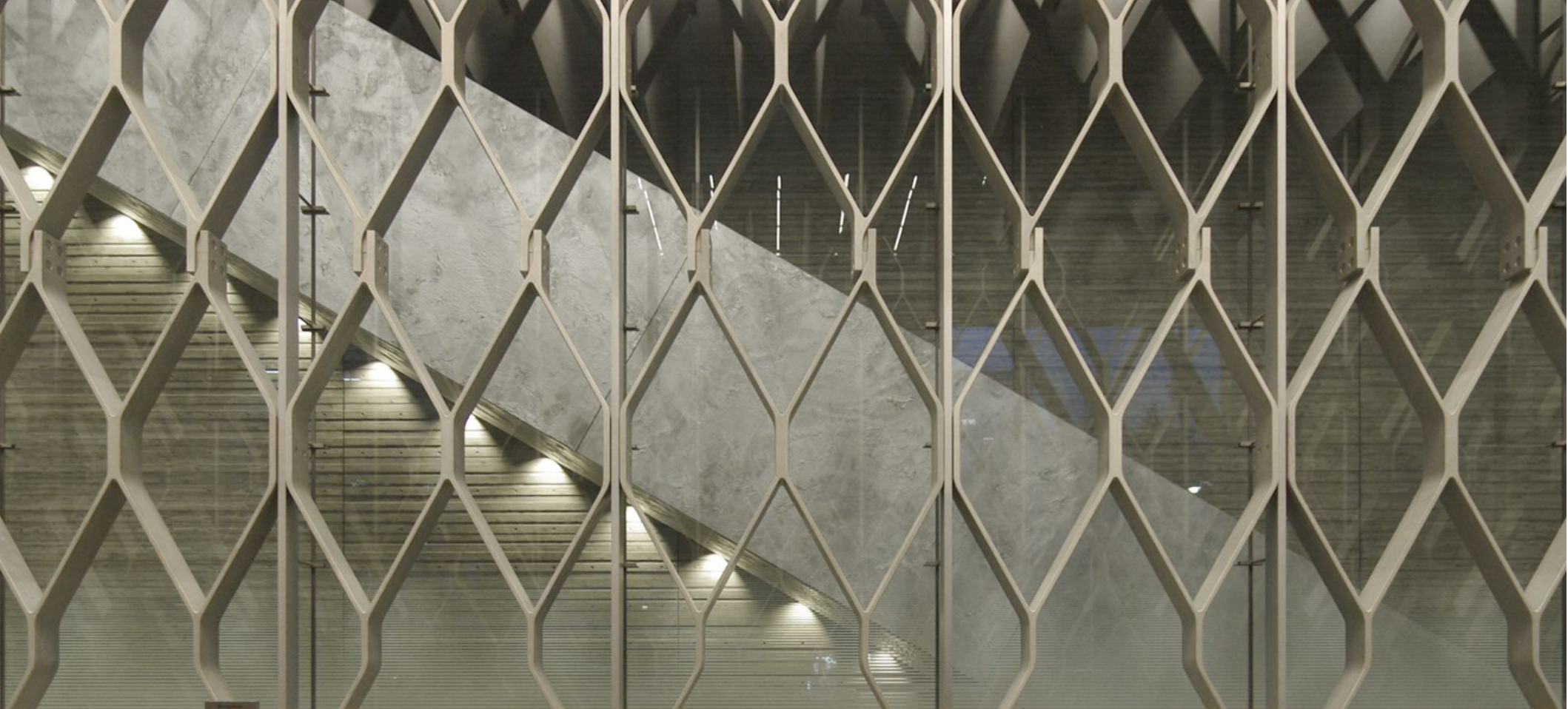


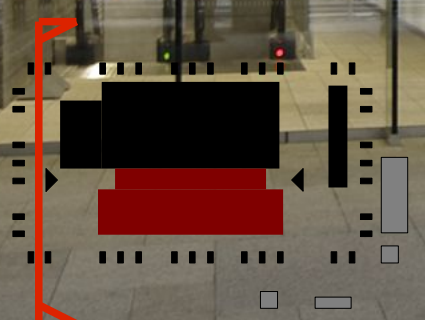
力学がつくるかたち

外装に用いたアルミキャストをガラスの支持材として使った。キャストの可塑性をいかした自由な曲面がつくるやわらかな空間がエントランスというもてなしの場にふさわしい。アルミキャストは風圧によるガラス変形を1/200までおさえる役割をもつ。キャストの形状はその力の分布により決定した。スチールマリオンとのハイブリッド構成とし7,900mmの大判ガラスを支えている。ひとつのキャストは幅2,100mmで上下に積み上げ、ハイテンションボルトで接合した。(加藤万貴/清水建設)

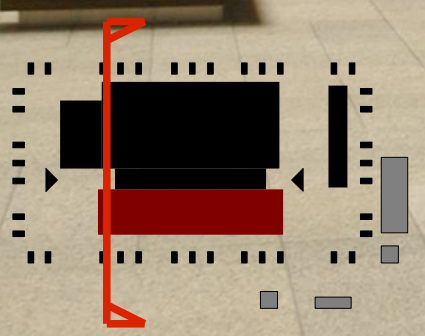


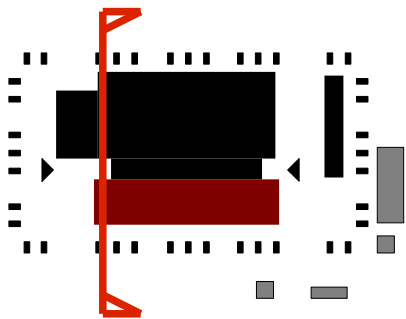


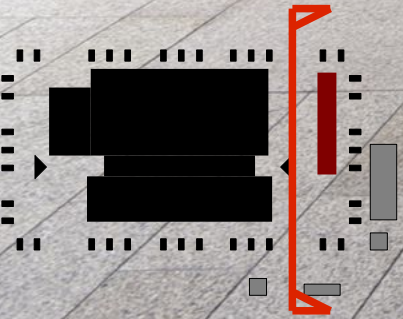






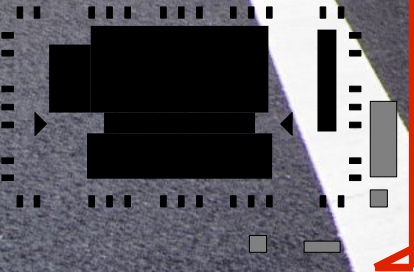


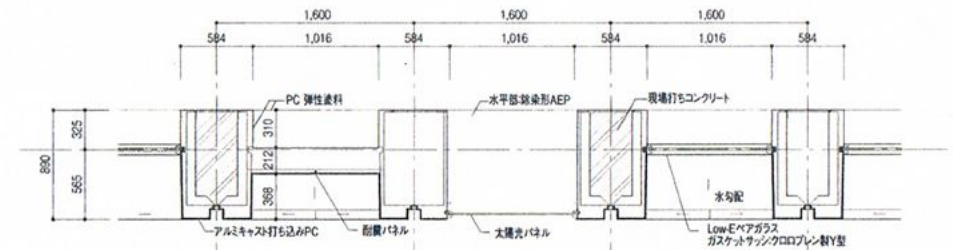




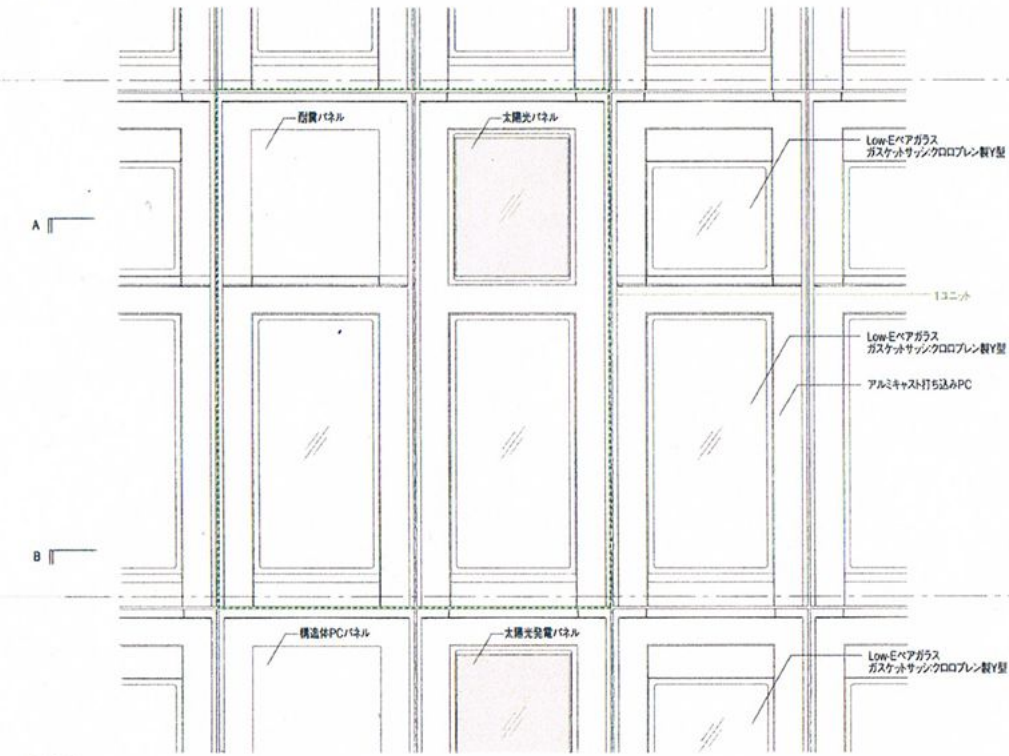


東武東上線 池袋駅
池袋駅

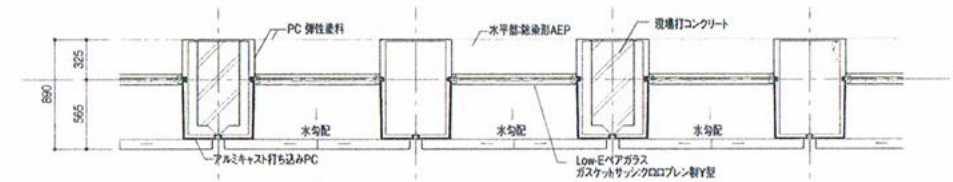




A-A断面



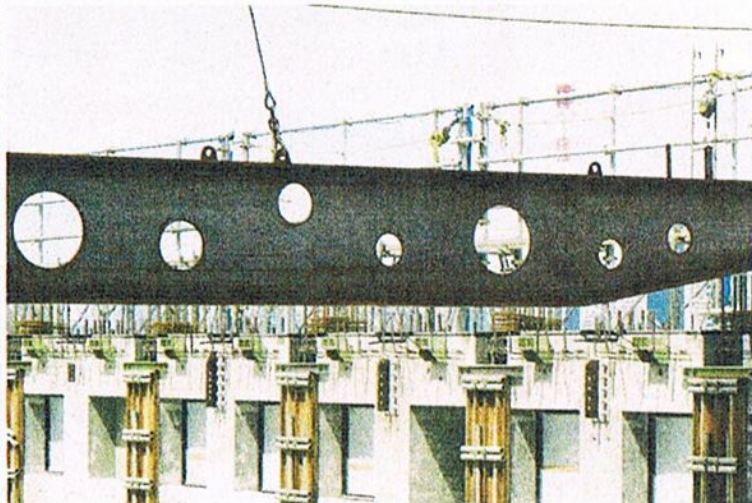
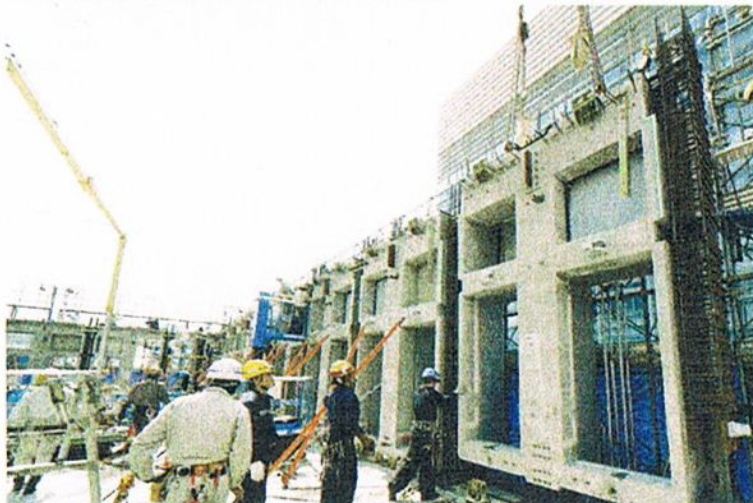
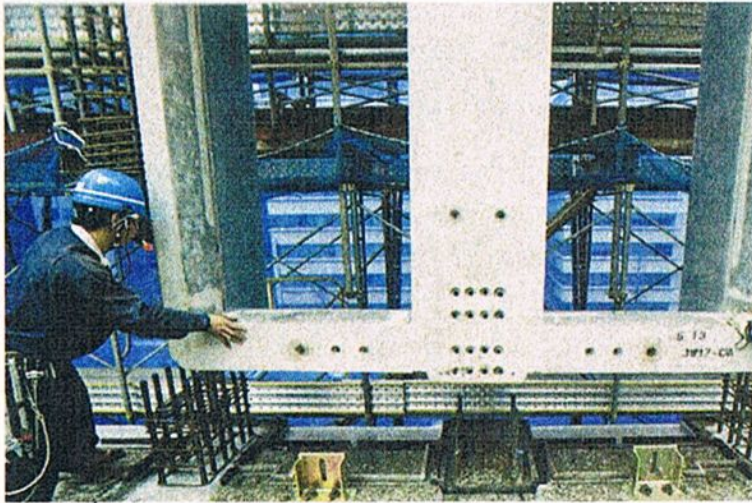
外装詳細



B-B断面



東側より見る。

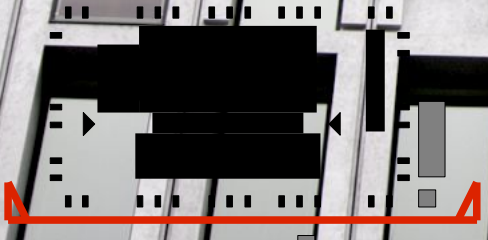


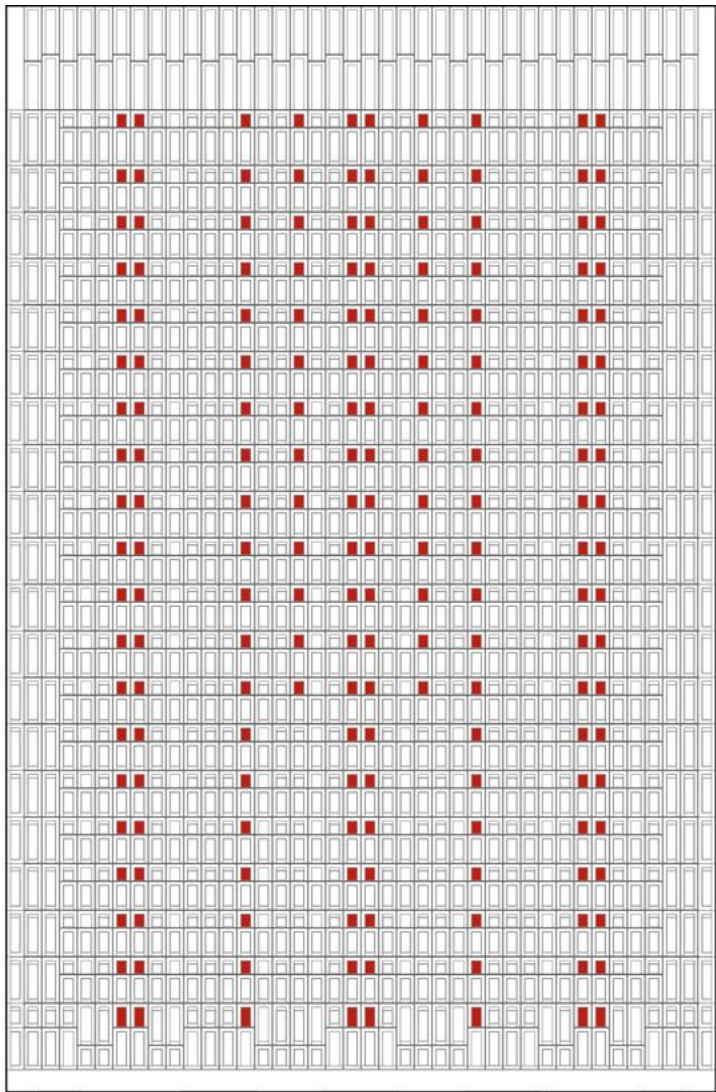
石垣を組み上げる

石垣や煉瓦を組み上げるようにPCパネルを組み上げていく。3,200mmx4,200mmのPCパネルを6日で1層組み上げた。揚重に使うインサート、PC同士を結合するグラウトの注入口・排出口、外部足場つなぎインサートといった施工時の痕跡は表現として残した。建物はひとつひとつの小さな部材からできていて、ひとつの手でつくられていく。そんなひとつの手跡が感じられるような建物にしたいと考えた。

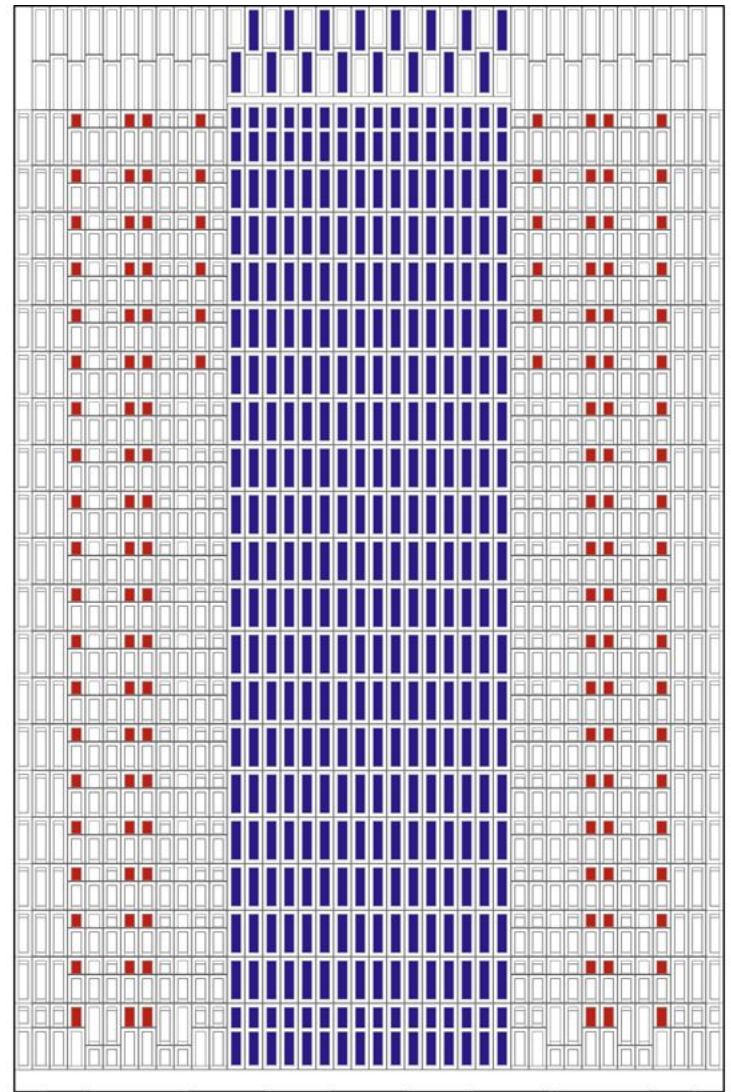
(国立篤志/清水建設)

左上：外装の施工。外装PCパネルは1ユニット2スパンでつくられている。右上：スラブとの接合。
左下：PCパネル同士は現場打ちコンクリート。右下：鉄骨梁を架ける。

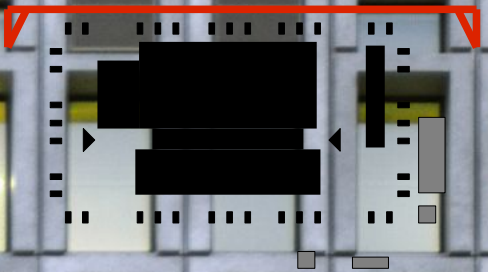
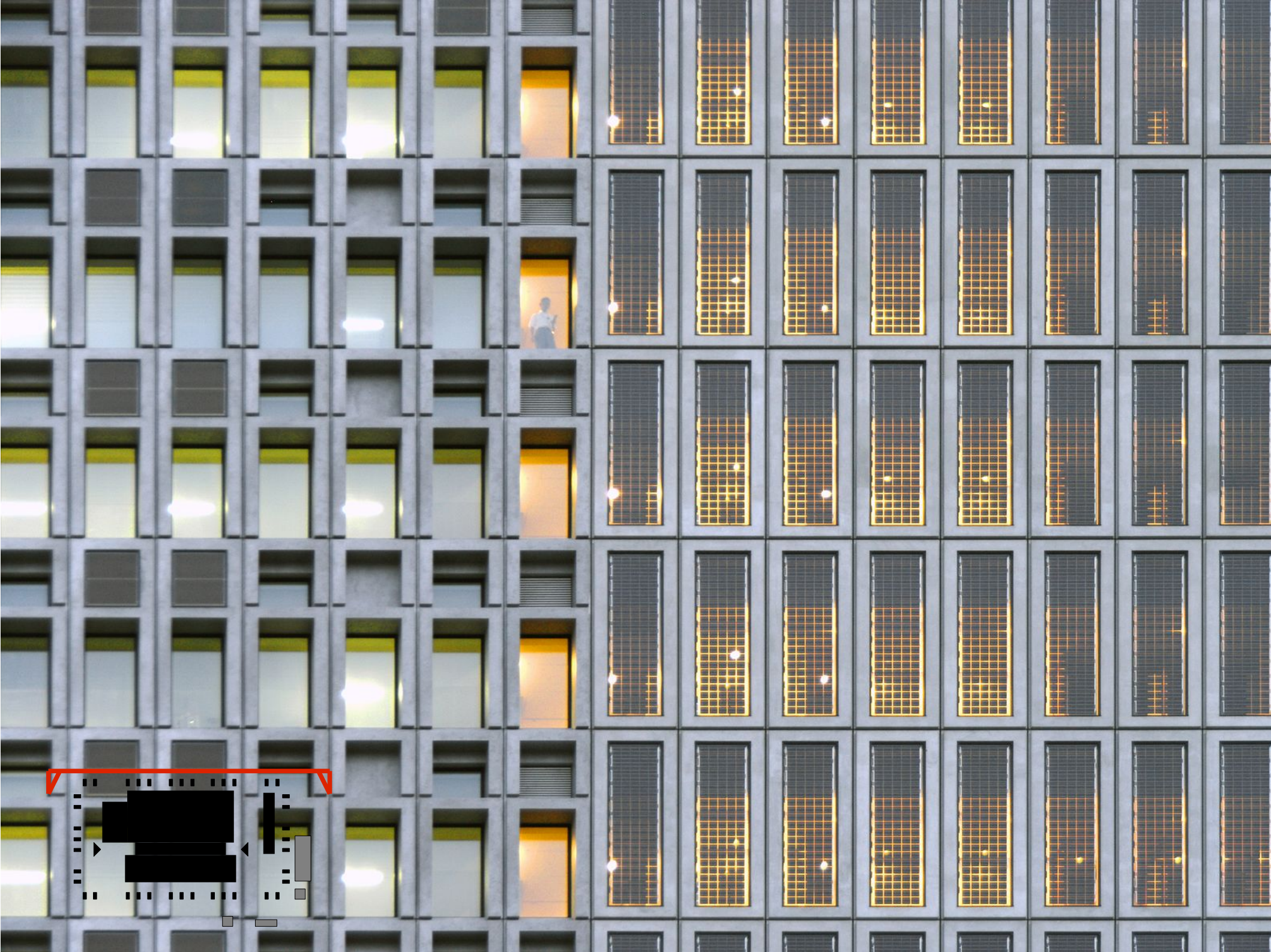




西立面图



東立面图



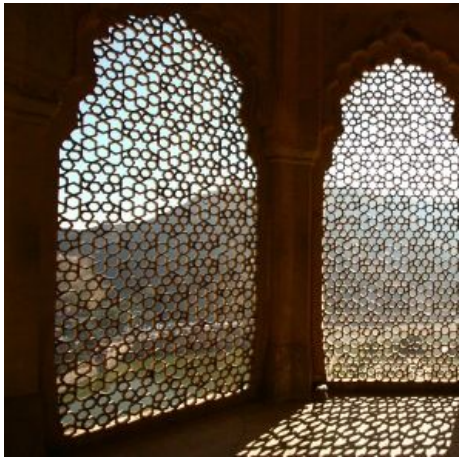
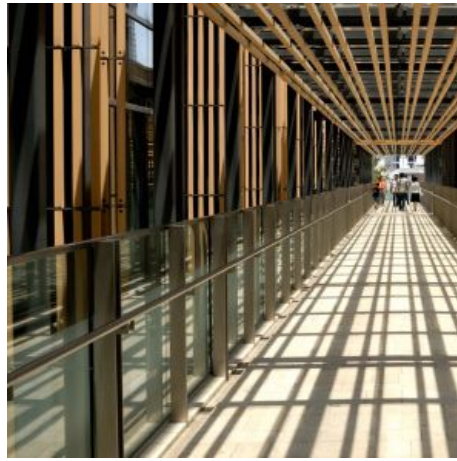


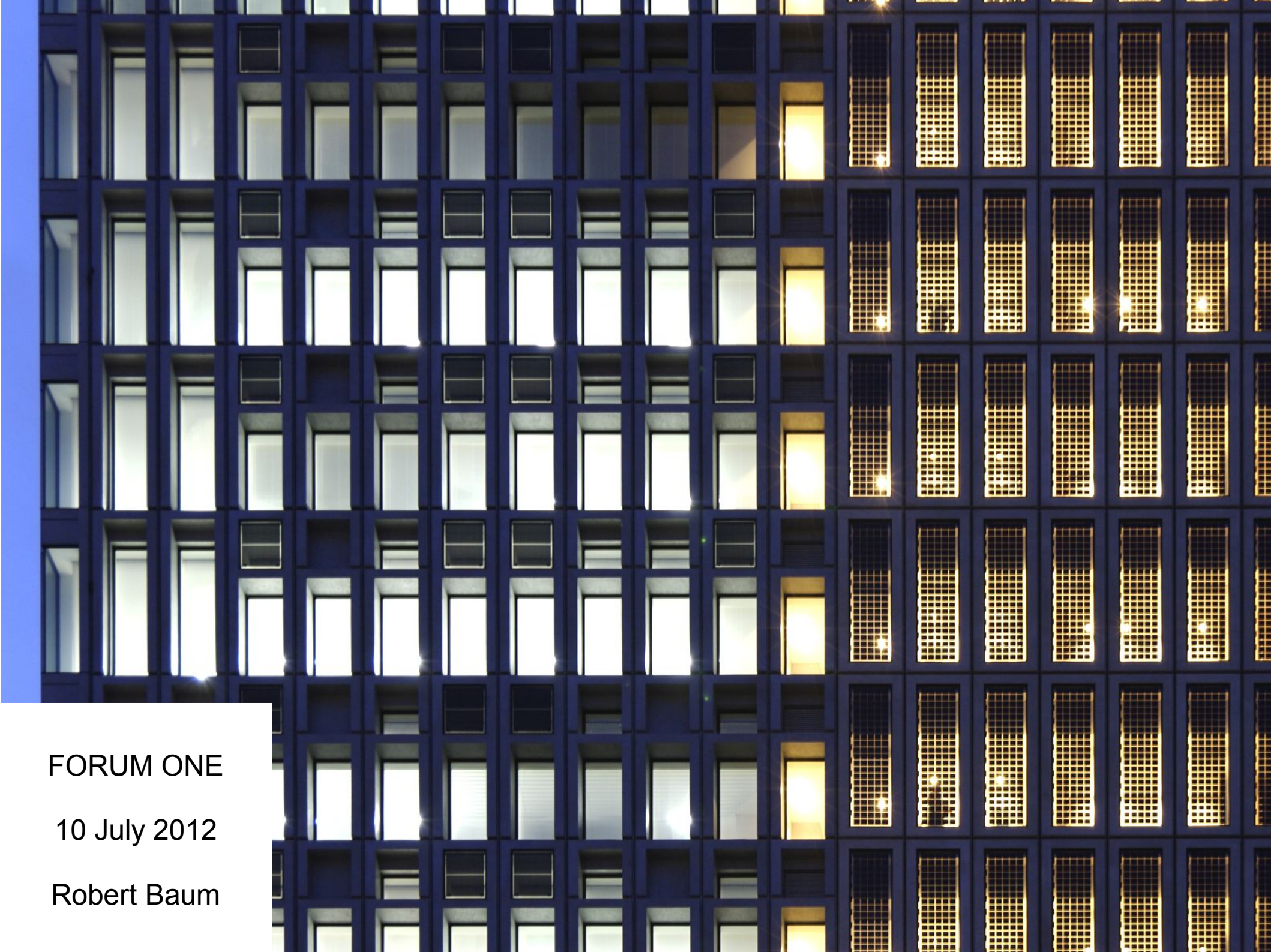
JFA House (former: Sanyo Tokyo
Yushima office bldg.),
Bunkyo, Tokyo, Japan, 1992



'Wohnanlage Richter' residential complex
Thomas Herzog and Bernhard Schilling
Munich, Germany, 1982







FORUM ONE

10 July 2012

Robert Baum